

# 日本スポーツ社会学会会報

Vol.44

# *Sport Sociology*

## 目次

・日本スポーツ社会学会第 16 回大会のご案内	2
・国際交流委員会報告	6
・平成 18 年度前期理事会議事録要旨	8
・事務局からのお知らせ	11
・編集委員会から「会員の業績報告」原稿のお願い	12
・各種学会のご案内	13
・学会・研究会報告	19

日本スポーツ社会学会  
Japan Society of Sport Sociology  
広報委員会 2006 年 12 月

## 日本スポーツ社会学会第16回大会のご案内

### I. 大会概要

期 日            2007年3月26日(月)・27日(火)

※大会前日3月25日(日)午後3時より金沢大学文法経済学部講義棟(金沢大学角間キャンパス)にて、「平成18年度後期理事会」を開催いたします。

◆会 場            金沢大学 文法経済学部講義棟(金沢市角間町 金沢大学角間キャンパス)

#### ◆アクセス方法

別紙「金沢大学までのアクセス」をご参照下さい。

※大会事務局では、交通・宿泊に関する斡旋は行いません。

恐れ入りますが、各自でご準備下さい。

◆参加費            正会員        6,000円(ただし、12/31までは「早割」5,000円)  
                   学生会員    3,000円  
                   懇親会       4,000円

#### 大会事務局

金沢大学教育学部 スポーツ社会学研究室内

920-1192 金沢市角間町

電話とFAX 076-234-4121

メール [sagawa@ed.kanazawa-u.ac.jp](mailto:sagawa@ed.kanazawa-u.ac.jp)

◆学会大会ホームページ <http://jsss.org/>

※ プログラムやシンポジウム・課題研究等の内容については、  
 確定したのから順に「学会大会ホームページ」に掲載します。

◆スケジュール ※変更になることがあります。(最新版は学会大会ホームページを見て下さい)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
25日								2006年度 後期理事会			
26日	2006・2007年度 新旧合同理事会		受付	一般発表	研究委員会課題研究			総会	懇親会		
27日	一般発表		昼食	特別講演	国際交流委員会 プログラム						

大会スケジュールは、発表申込者数によって変動する可能性があります。

特別講演 演者：大久保 英哲 氏(金沢大学)

「(仮題)旧制第四高等学校のスポーツ活動：柔道部練習日誌「南下軍」の分析から」

金沢では、旧制第四高等学校が創立120周年を迎えました。これを記念した「学都」120周年のイベントが盛大に行われています。大久保英哲教授(体育史)には、「四高」時代のスポーツ活動について、柔道部の練習日誌の分析から報告をしていただきます。お楽しみに。

◆研究委員会課題研究シンポジウム

テーマ：「スポーツの空間／空間のスポーツ II」

報告予定者

- 吉原直樹（東北大学・教授） 「(仮題) 戦間期仙台の余暇空間」 (非会員)  
関 直規（弘前学院大・助教授）「(仮題) 戦間期の社会体育行政と都市空間」(非会員)  
石坂友司（筑波大学・文部技官）「(仮題) 1940年東京五輪がうみだした都市空間」

◆国際交流委員会プログラム

テーマ：「グローバリゼーションとアジアのスポーツ」

報告予定者 ステイブ・ジャクソン教授（オーストラリア）

II. 大会参加・一般研究発表申し込み

大会に参加される方は、申し込みをお願いします。12月31日までの「早割」がお得です。研究発表される方は、〆切日（12月31日）までに申し込みをお願いします。

[申し込み手続き]

「日本スポーツ社会学会第16回大会参加・発表申込書」に必要事項を記入の上、第16回大会事務局宛に郵送、ファックスでお送り下さい。なお、第16回大会ホームページからも申し込みます。

【申込先】〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学教育学部 スポーツ社会学研究室  
日本スポーツ社会学会第16回大会事務局 宛  
Tel/Fax 076-234-4121  
E-mail: sagawa@ed.kanazawa-u.ac.jp  
第16回大会ホームページ <http://jsss.org/>

[一般研究発表資格に関する注意事項]

「日本スポーツ社会学会大会開催に関する規定」第5条による、一般研究の発表者の資格は次のとおりです。発表申込時に「年会費」「大会参加費」の納入状況をご確認ください。未納の場合には、発表できないことがあります。

- ①発表者及び共同研究者は、日本スポーツ社会学会員であること
- ②発表者及び共同研究者は、その年の年会費を納めていること
- ③発表者は大会参加費を納めていること
- ④大会に参加しない共同研究者は、大会参加費を納める必要はないこと

[大会参加費の送金方法]

申込みと同時に、郵便振替にて大会参加費を大会事務局の口座までご送金下さい。

		懇親会参加	懇親会不参加
正会員	「早割」12月31日まで	9,000円	5,000円
	1月1日以降	10,000円	6,000円
学生会員		7,000円	3,000円

発表申し込み締め切り 2006年12月31日（日）

【振込先】 郵便振替 口座番号 00720・6・75641

口座名称 日本スポーツ社会学会第16回大会

※ 同封の振替用紙をご利用下さい。

※ 恐れ入りますが、手数料は各自ご負担願います。

※ 支払者の連絡先を必ずご記入下さい。

### Ⅲ. 発表抄録集原稿の提出

研究発表される方は、抄録集に掲載するための原稿を以下の要領で作成し、期日までに大会事務局まで送付してください。

#### ◆書式

- ・ A4用紙2枚、縦置き、横書き、1枚当たり40字×50行の2000字（論題、発表者氏名、所属を含む）で、上下左右の余白を20mm取ってください。
- ・ 論題、発表者氏名、所属を原稿の冒頭に入れてください。それぞれの下に英語表記を入れてください。

#### ◆発送方法

- ・ ワードソフト等を使用して原稿を作成し、プリントアウトしたものを、厚紙等で保護した上、郵送してください。
- ・ 第16回大会ホームページからも送ることができます。大会ホームページおよび電子メール添付で送信する場合は、Microsoft Wordで作成した文書を送信してください。  
※ 送付された原稿をそのまま抄録集として印刷しますので、完成原稿をお送り下さい。

原稿提出締め切り 2007年1月31日（水）

※ 期日までに提出されない場合には、抄録集に掲載されませんのでご注意ください。

### Ⅳ. 発表に関する注意事項

- (1) 一般研究発表の時間は、発表20分、質疑応答10分です。
- (2) 発表の際に使用する機器（PC・プロジェクタ、VTR（VHS・DVD））については、申し込みの際に明記してください。
- (3) パワーポイントによる発表を希望する方は、できるだけ USB フラッシュメモリにてデータをご持参ください。
- (3) 当日、発表資料を配布する場合は、各自70部以上を持参してください。

日本スポーツ社会学会第16回大会参加・発表申込書送付先

【申込先】〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学教育学部 スポーツ社会学研究室  
日本スポーツ社会学会第16回大会事務局 宛  
Tel/Fax 076-234-4121  
E-mail:sagawa@ed.kanazawa-u.ac.jp  
第16回大会ホームページ <http://jsss.org/>

【振込先】 郵便振替 口座番号 00720-6-75641  
口座名称 日本スポーツ社会学会第16回大会  
※ 同封の振替用紙をご利用下さい。  
※ 恐れ入りますが、手数料は各自ご負担願います。  
※ 支払者の連絡先を必ずご記入下さい。

### 金沢市へのアクセス

#### 東京方面から

- 飛行機利用 羽田-小松 1日11便 1時間 ※小松空港-金沢駅連絡バスがある。
- JR利用 東京-金沢 上越新幹線, はくたか(ほくほく線経由) 3時間40分,  
上野-金沢 寝台特急北陸・夜行急行能登 8時間
- 高速バス利用 東京-金沢 1日6便 7時間30分 ※横浜発、八王子発もあり。  
→詳細は[北陸鉄道のホームページへ](#)

#### 大阪・京都方面から

- JR利用 大阪-京都-金沢 特急サンダーバード・雷鳥 2時間30分
- 高速バス利用 京都-金沢 1日5便 4時間

#### 名古屋方面から

- JR利用 名古屋-金沢 特急しらさぎ 3時間
- 高速バス利用 名古屋-金沢 1日10便 4時間

#### 金沢駅から角間キャンパスまでのアクセス(北陸鉄道バス利用の場合)

- 乗車 金沢駅東口3番乗り場発 91・93・94・97 金沢大学行き(兼六園下経由)
- 下車 金沢大学(終点) 34-37分 片道350円  
時刻表は、北陸鉄道ホームページ[時刻表html版](#)で

## 国際交流委員会報告

韓国のスポーツ社会学会における日韓交流事業のご報告

黄順姫（筑波大学）

11月25日に、「アジアスポーツシステムのなかの韓国と日本の役割」でシンポジウムが開かれました。日本側では名古屋大学の高橋先生が招待され、発表しました。また、私は学生と参加しコーディネーターとして交流を図りました。

発表題目

**New philosophy and alternatives for the future Asian Games toward "sharing "**  
(ハンヤン大学のチョンソンシク先生)

**Playing in the Asian countries: Sports players moving from Japan to other Asian countries**

(名古屋大学の高橋先生)

コメンテーター

コウンハ先生（韓国体育科学研究院）、黄順姫（筑波大学）

司会

チョン スホ（インハ大学）

グローバル化のなかのアジアスポーツシステムのなかで、アジアのスポーツイベントに、各国がスポーツをめぐる競争に参加、多様な文化の受容、スポーツ基金の安定化などを通して、活性化させる問題が発表、討論されました。また、選手のアジアでの移動の傾向と問題点について、受ける側と送る側の選手、スポーツファン、スポーツ産業などの基盤が発表、討論されました。アメリカ、ヨーロッパと異なるアジアのスポーツシステムをこれからより多様な観点から研究する必要があるという意見がでました。そして、韓国ではグローバル化のなかのスポーツ現象についての具体的な研究が少ないという意見もでました。このような現状のなか、アジアのスポーツ現象に注目し、日本と韓国のスポーツ社会学の研究者たちが、研究と人の交流を行うことが重要であるという印象を受けました。

シンポの時間が1時間という短い時間でしたので、延長しましたが、会員が真剣に参加し、充実したシンポジウムでありました。韓国側の会員の方々も積極的に参加され今後も、交流事業を続けていくことが大事だと思いました。日本の交流事業で発表されたチョンヒジュン先生も出席されていました。チョン先生は高橋先生や私と再会することで、日本での学会を思い出し、喜んでくれました。日・韓で互いに会員がより多く参加し、積極的に各部会で発表する日がくることを今後も願っています。



## 平成 18 年度前期理事会議事録要旨

日 時：2006 年 9 月 23 日（土） 13：00～16：00

場 所：筑波大学大塚キャンパス E 館 363 演習室

出席者：伊藤、佐伯、井上、トンプソン、中島、野川、松尾、松村、水上、萩原、菊（事務局幹事）、岡田（広報委員会幹事）、佐川（16 回学会大会責任者）、杉本（ISSA 国際大会開催検討委員会委員長）、以上 14 名

配布資料：①第 16 回学大会案内（案）②ISSA 国際大会開催に関する検討委員会企画（案）③ JISS 作成 SPORTDiscus 資料 ④役員選挙・後期理事会日程（案）⑤入会・退会一覧 ⑥韓国学会からの招待状 ⑥高橋義雄氏推薦理由（メールコピー）⑦広報委員会からの報告事項

### 1. 審議事項

#### (1) 第 16 回学会大会について

配布資料①に沿って、期日、会場、大会実行委員、大会事務局、全体スケジュール等が佐川大会実行責任者から示された。スケジュールについて若干の要望がだされさらに検討することとなったが、その他は提案どおりに承認された。大会実行委員と大会事務局は以下のとおりである。（敬称略）

大会実行委員：佐川哲也 金沢大学教育学部（責任者）

奥田睦子 金沢大学経済学部

田島良輝 星陵女子短期大学

大会事務局：金沢大学教育学部スポーツ社会学研究室内

076-234-4121 sagawa@ed.kanazawa-u.ac.jp

#### (2) ISSA 学会 2008 について

杉本 ISSA 国際大会開催検討委員長より配布資料②により、企画の目的、開催時期、開催場所、大会内容、予算案等が示され、承認された。今後、開催検討委員会は「開催準備委員会」と名称変更、準備委員を人選し、3 月の総会にかけるべくより細かい準備を進めることとした。

開催時期：2008 年 7 月下旬

開催場所：京都

#### (3) JISS（国立スポーツ科学研究所）への学会誌論文抄録の提供について

2005 年 4 月より JISS の呼びかけにより国内関連スポーツ学会と JISS との連携会議が開催され（2006 年 9 月までに合計 3 回）、SPORTDiscus への各学会誌論文英文抄録の公開促進という件を話し合ってきた。しかしこの間にカナダの公益団体であった SPORTDiscus 自体が米国の EBSCO という出版情報の私企業（DSB の格付け最高ランクの位置にある）に買い取られた。この状況変化の中で当学会は論文英文抄録を提供するかどうか話し合ったが、最終的に提供しようという結論を得た。今後は次回総会にかけて会員の了解を得る必要があることを確認した。

#### (4) 平成 19 年度学会大会開催責任者について

中京大学社会学部西山哲郎会員が大会責任者をお引き受けくださった旨事務局より報告があり、承認された。

#### (5) 役員選挙日程と選挙管理委員について

役員改選のための選挙を 2 月に実施することとし、選挙管理委員・立会人の候補者を決



定した。

(6) 2006年度後期理事会と新旧理事会の交代について

例年後期理事会は学会大会の第1日目午前中に開催してきたが、新旧理事会の交代時間が十分に取れなかった。そのため後期理事会を学会前日の午後とし、新旧入れ替理事会を従来の時間帯に実施したらどうかという提案が事務局から提出され、承認された。

(7) 会員移動(2006年3月27日～9月23日)

新入会員・退会者を以下のように承認した。

平成18年度前期新入会員申請

属性	氏名	所属
学生会員	長谷 淳	日本大学大学院文学研究科
学生会員	小竹 瞬	奈良教育大学大学院
学生会員	浜田 幸絵	東京経済大学大学院コミュニケーション学研究科
学生会員	田中 暢子	ラフバラ大学大学院(神奈川県立保健福祉大学)
正会員	藤原 昌樹	川村学園女子大学
正会員	森 仁志	武蔵大学社会学部非常勤
正会員	九後 雅昭	厚生労働省京都労働局伏見公共職業安定所
正会員	石田 秀朗	奈良産業大学経営学部
正会員	別所 秀夫	京都教育会館

以上、学生会員4名、正会員

5名

退会

属性	氏名	所属
学生会員	佐藤 佳弘	秋田大学大学院
学生会員	五十嵐 潤	北海道大学大学院
学生会員	藤田 修一	神戸大学大学院
学生会員	工藤 郁夫	筑波大学大学院
学生会員	瀬尾 恭子	
学生会員	前田 貴司	大阪府守口高等学校
正会員	古澤 久雄	鹿屋体育大学
正会員	近藤 義忠	仙台白百合女子大学人間学部
正会員	岩坂 大輔	矢野経済研究所

以上、学生会員6名、正会員3名

(8) その他

会報の紙媒体送付再考という意見がだされたが、費用と労力の点でむずかしいということになった。

2. 報告事項

(1) 各委員会活動報告

i) 国際交流委員会(杉本委員長代理)

日韓交流は韓国と日本の年度と年に対する解釈の違いがあったのでその点を調整し、本年11月韓国側招待、2007年交流なし、2008年3月日本側招待、11月韓国側招

待、2009年交流なし、と隔年で行うこととした。2006年11月25日韓国学会のテーマは「アジアスポーツとグローバリゼーション」であり、委員会としては配布資料⑥の理由により高橋義雄（名古屋大学）会員を推薦する旨の説明があり、承認された。

- ii) 研究委員会（松村委員長）  
昨年テーマを継続し、学会大会の企画案を練っている。
- iii) 編集委員会（トンプソン委員長）  
「スポーツ社会学研究第15集」は、論文、昨年の学会シンポジウム（研究委員会、国際交流委員会）の小特集、書評という構成となる。応募論文は5本である。今後論文の応募数を増やすべく積極的に会員に呼びかける。
- iv) 広報委員会（岡田委員長代理）  
学会HPのリニューアル、会報43号HPへのアップ作業を行った。会報44号の原稿締め切りは10月10日である。
- v) 事務局（萩原事務局長）  
会員数の現状：正会員328、学生会員86、購読会員11、賛助会員3、予算執行状況の報告があった。

以上

## 事務局からのお知らせ

### 理事選出選挙のお知らせ

来る2007年3月をもって2005・2006年度担当の現理事の任期が終了します。  
つきましては新理事選出のための、郵送による無記名投票選挙を2007年2月に実施いたします。  
事務局より投票依頼の書類が郵送されますので、ご投票頂きたくよろしくお願い致します。  
なお、選挙管理委員は以下の会員にお引き受けいただきました。

森川 貞夫（委員長、現理事で被選挙権を持たない）  
稲葉 佳奈子  
依田 充代

日本スポーツ社会学会事務局 萩原美代子

## 編集委員会から「会員の業績報告」原稿のお願い

スポーツ社会学研究第15巻の巻末に、以下の要領で「会員の業績報告」を掲載します。については、ワード書式添付ファイルで、下記メールアドレス宛てに、

**2007年1月9日（火）まで（必着）**  
にご投稿ください。

[editor@jsss.jp](mailto:editor@jsss.jp)

1. 業績内容は、原則として「スポーツ社会学」分野に関連するものを中心に挙げて下さい。（関連する、しないの判断は投稿者に委ねます）。
2. 今年度1年間の業績を報告してください。
3. 報告の内容を以下の項目に分けてください。
  - 1) 書籍（分担執筆、編集を含む）
  - 2) 原著論文
  - 3) 翻訳
  - 4) 調査報告書・学会報告
  - 5) その他
4. 書き方は、第14巻の「会員の業績報告」欄を参照してください。アルファベット、数字等は半角文字でお願いします。

## 各種学会のご案内

### 1. I S S A

#### **Sport in a Global World Past, Present and Future**

4th World Congress of ISSA in conjunction with the 10th World Congress of ISHPES

31st July - 5th August 2007 in Copenhagen

Organised by: Institute of Exercise and Sport Sciences University of Copenhagen

#### **Invitation**

It is our pleasure to invite you to the joint World Congress of the International Sociology of Sport Association and the International Society for the History of Physical Education and Sport. The world congress on Sport in a Global World: Past, Present and Future is to be held in Copenhagen, Denmark from 31st July to 5th August 2006.

#### **Aim and theme of the congress**

We are looking forward to a congress which aims at international cooperation and scientific interdisciplinarity. The congress will focus on the historical development of global sport, as well as on the interrelations between sport, ideologies and politics, and explore its impact on people, cities, cultures and countries; it will connect past, present and future.

#### **Main topics**

- Sport and globalisation – processes, causes and effects
- Sport ideologies and practices in various societies
- Media and media sport
- Global sport and its impact on gender, race and class
- Sport and the transformation of cities and countries
- Body and movement cultures in a changing world
- Hegemonic sport discourses and local resistance
- The past, present and future of mega sport events and the Olympic Games

#### **Scientific programme**

The Scientific Programme consists of keynote sessions, parallel sessions, poster sessions and a book exhibition. Topical and controversial issues may be discussed in “ad hoc” sessions.

During plenary sessions invited speakers will place the main topics of the congress in a general historical and sociological perspective.

The keynote speeches are to be given by: Professor Lord Anthony Giddens, London School of Economics

Professor Judith Lorber, Professor Emerita, Brooklyn College and Graduate School, CUNY  
 Professor Thomas Laqueur, University of California, Berkeley  
 Professor Anker Brink Lund, Copenhagen Business School

### **Social programme**

The opening ceremony will take place at 7pm on 31st July 2007 at the Town Hall, where the Mayor of Copenhagen will greet the congress participants. A guided boat tour will inform the participants about the history of Copenhagen and lead to important locations of the city. The congress will end with a farewell dinner.

### **Information for presenters**

If you are interested in contributing a paper, a poster or a workshop, please send an abstract online in addition to your registration. In Mid-November registration forms and abstract submission forms can be accessed on the congress website <http://www.ifl.ku.dk/congress2007>. Additional information and guidelines will be given on the frequently updated congress website.

All abstracts received before 31st January 2007 and accepted will be published in a volume of abstracts and distributed to participants at the beginning of the Congress.

The selection of presentations and their allocation to the sessions will be determined by the Scientific Committee.

Questions about registration can be addressed to the Congress coordinator at email: [congress2007@ifl.ku.dk](mailto:congress2007@ifl.ku.dk)

### **Congress fee**

	Until 30th April 2007	From 1st May 2007
ISSA/ISHPES members	300 Euro	365 Euro
Non-members	380 Euro	445 Euro
Accompanying persons	100 Euro	100 Euro

Participants from category B or C countries can apply for a reduction of the fee. There will be a reduced fee for students.

### **Deadlines – important dates**

31st January 2007 Submission of abstracts  
 31st March 2007 Notification of acceptance of contribution  
 30th April 2007 Deadline for reduced registration fee  
 31st July 2007 Arrival and registration  
 5th August 2007 Departure

### **Official language**

The official language of the Congress is English.

### **Organisation**

International Sociology of Sport Association (ISSA)  
 International Society for the History of Physical Education and Sport (ISHPES)  
 Institute of Exercise and Sport Sciences, University of Copenhagen

### **Organising Committee**

Else Trangbæk (head) Gertrud Pfister Anne Lykke Poulsen

**Scientific Committee:**

Gertrud Pfister (head)	Steve Jackson	Ilse Hartmann-Tews
Christopher Hallinan	Kevin Young	Fabien Ohl
Thierry Terret	Richard Cox	Patricia Vertinsky
Jørn Hansen	Else Trangbæk	

**Congress venue**

The congress will take place in the historic buildings of University of Copenhagen located in the heart of the city.

**Accommodation**

Participants will be responsible for booking accommodation. We have negotiated favourable terms with two hotels and a hostel in the centre of Copenhagen. See information on the congress website.

**Further information**

<http://www.ifl.ku.dk/congress2007>

Email: [congress2007@ifl.ku.dk](mailto:congress2007@ifl.ku.dk)

2. I I C S S

**Inaugural International Conference on Sport and Spirituality**

**Host:** Centre for the Study of Sport and Spirituality  
<http://sportspirituality.yorks.ac.uk>

**Contact:** Edward Kirby  
Email: [e.kirby@yorks.ac.uk](mailto:e.kirby@yorks.ac.uk) Telephone +44 (0)1904 876517

**Date:** 28 – 31 August 2007

**Venue:** York St John University, York, England

**Background**

The establishment of The Centre for the Study of Sport and Spirituality (CSSS) in the Faculty of Health and Life Sciences at York St John University is a new and exciting development that provides a forum for academic study and debate. The Centre is dedicated to promoting scholarly activity through research, teaching, publication, conferences, symposia and collaboration with others. As sport is arguably the most popular cultural pastime of the western world, if not worldwide, it is hoped the work of the Centre can help foster a culture that emphasises the importance of the spiritual, moral and ethical dimensions of sport. The Centre will be officially launched at the Conference and it is hoped that scholars and practitioners from across the disciplines can meet to engage in a critical discussion about the spiritual and religious aspects of sport. Conference themes will appeal to scholars and practitioners from disciplines such as sports studies, philosophy, theology and religious studies, physical education and coaching, psychology, health studies, literature, history and sociology.

**Conference Themes**

As this conference is an inaugural event, we welcome abstracts from a *wide-range* of topics and contexts in the sports world that encompass the full breadth of human

spiritual experience in sport and exercise. In line with the ethos of the CSSS and York St John University, this includes perspectives from all major western and eastern faith traditions and humanistic/transcendent accounts of spirituality. On this note, the keynote presentations shown on the conference page of the CSSS website identify *some* of the many themes that may evolve from the submission of abstracts.

### **Keynote Speakers**

Professor Michael Novak, American Enterprise Institute for Public Policy Research, WA, USA.

Professor Emeritus Shirl Hoffman, University of North Carolina at Greensboro, USA.

Dr Mark Nesti, York St John University, York, England.

Professor Ken Ravizza, California State University, Fullerton, CA, USA.

Professor Scott Kretchmar, Penn State University, PA, USA.

Professor James Mathisen, Wheaton College, IL, USA.

### **Conference Publication**

Each delegate will receive a book of Conference Abstracts. It is anticipated that Keynote lectures and a number of invited essays will be published as a book volume that will include a scholarly bibliography of publications in the area of sport/exercise and spirituality/religion. Further information will also be available at the conference concerning the forthcoming *International Journal of Religion and Sport* that is affiliated to the CSSS.

### **Abstract Submission**

Abstracts of 200-300 words should be submitted no later than Friday 27 January 2007. Please send abstracts electronically as MS Word (or compatible) attached files to Edward Kirby, Email: [e.kirby@yorks.ac.uk](mailto:e.kirby@yorks.ac.uk) If *email is not an option* please send 3 hard copies to: Edward Kirby, Faculty of Health and Life Sciences, York St John University, Lord Mayor's Walk, York, England, YO31 7EX. Please include your name, a two-sentence biography, contact address, institution or affiliation, email address and state the type of proposed presentation, i.e., oral or poster presentation, or mini-workshop. Oral presentations and mini-workshops should last no more than 35 minutes including time for questions. There will be allocated time slots for 'poster sessions' in which presenters can share and discuss their research/scholarship.

For information on registration fees and accommodation, see the accompanying attached Conference Booking Form. For further information on the CSSS, Keynote speakers' abstracts, screening of a film and presentation on Jewish women in sport, information on the beautiful historic city of York, please visit the CSSS website at: <http://sportsspirituality.yorks.ac.uk>

Chair, Conference Organising Committee, Nick Watson

### **CONFERENCE FEE**

£ 173.00 (3days, plus Tuesday evening, 28<sup>th</sup> August)

This includes the conference pack, the pre-conference Gala Dinner including wine on the evening of Tuesday 28<sup>th</sup> August, morning and afternoon refreshments and a buffet lunch on each of the three days of the conference and a bound copy of the Conference Proceedings.



## **DAY DELEGATE RATES**

£75.00 per day

This includes the conference pack, morning and afternoon refreshments, a buffet lunch and a bound copy of the Conference Proceedings.

## **Timings**

Conference registration is from 4pm – 6pm on Tuesday 28<sup>th</sup> August 2007 at the main reception. The opening Gala Dinner (28<sup>th</sup> August) will start at 7.30pm in the Dining Room at which Professor Michael Novak will be delivering his keynote address. The conference will finish after the final presentation on Friday 31<sup>st</sup> August at approximately 4pm.

## **Location and Travel**

The conference is being held at York St John University. Maps and directions can be found at [www.yorks.ac.uk](http://www.yorks.ac.uk) by clicking on *About Us/Location, Map & Directions* on the left-hand menu. The following information not on this site may also be of use:

- Ideally overseas delegates should fly into Manchester International Airport (<http://www.airport-maps.co.uk/North/Manchester/>) from which a frequent (hourly) direct train service is available to York that takes 2hrs (<http://www.tpexpress.co.uk/about/trains.asp>).
- For overseas delegates who for flight-routing reasons who are wishing to complement their trip with by visiting the capital city and area, you may wish to fly into London Heathrow (<http://www.heathrowairport.com/>) or Gatwick (<http://www.gatwickairport.com/>). A direct train service from *London Kings-Cross* train station (central London) to York is available and takes approximately 2 hrs (200 miles). Trains and buses are available from both airports to London Kings Cross train station.
- There are other airports, such as Leeds-Bradford (<http://www.airport-maps.co.uk/North/Leeds-Bradford/>), 35 miles from York, and Doncaster/Sheffield, Robin Hood (<http://www.robinhoodairport.com/>), 40 miles from York, that may have flight availability, mainly for delegates flying from Europe.

## **Acknowledgement**

Abstracts will be reviewed by the CSSS Programme Committee and contributors will be notified by March 21<sup>st</sup> 2007. See Call for Papers for details of how to submit your abstract.

## **Refunds and Cancellation Charges**

Cancellations received after 2<sup>nd</sup> July 2007 will be subject to a fee of £50.

## **ACCOMODATION AND MEALS**

### **Option 1**

On campus student accommodation is available at £27.50 per night, but is basic. Single rooms are *not* en-suite and thus facilities are shared in each student accommodation block. Please indicate the number and dates of the nights you wish to book and the total cost on the booking form. This accommodation is available for the 27<sup>th</sup> and 31<sup>st</sup> August if delegates travel arrangements deem this necessary.

### **Option 2**

Stay in one of the many hotels or guest house in close proximity to the University. As York St John University have previously used *Best Western Monkbar Hotel* for conference delegates, we have secured a special rate—20% discount with this establishment and due to its very close proximity to the Campus and the city centre we would recommend that delegates not wishing to stay on campus consider this hotel. This will also assist in the conference’s community feel and developing discussions and relationships from the conference. If you decide to stay in a York hotel, please be aware that hotels during this period are very busy. Therefore, you should *make your bookings well in advance*.

- **Best Western Monkbar Hotel** (3 Star) is situated 500yds from York St John University and the city centre. Bed and Breakfast in twin rooms with single occupancy for a special rate of £82.00 GBP per night. See <http://www.monkbarhotel.co.uk/>
- **The Grange** (3 star red, i.e., nearly 4 star) that is situated within a 5-minute walk from York St John University and the city centre. Bed and breakfast in a single occupancy room is £97.50 per night. See <http://www.grangehotel.co.uk/index.html>
- A wide-range of hotels and guesthouses can be found at [www.york-tourism.co.uk](http://www.york-tourism.co.uk)

#### **PAYMENT**

For paying conference fees and on-campus accommodation at York St John University, delegates have two options of payment as follows:

##### **Cheque**

Please make your cheque in sterling payable to ‘York St John University’ and write your name & “Sport and Spirituality” on the reverse of the cheque, and return it with this Booking Form to:

Edward Kirby,  
Faculty of Health and Life Sciences,  
York St John University,  
Lord Mayor’s Walk,  
York,  
England,  
Y031 7EX.

##### **Direct Transfer**

**Please make sure the payment is marked with “Sport and Spirituality” & your name.**

Account Name: York St John University

Bank Details: Barclays Bank PLC,  
York Branch,  
PO Box No 24,  
York, Y01 8XD

Account Number: 70936324

Sort Code: 20-99-56

IBAN: GB36 BARC 2099/5670/9363/24

SWIFT CODE: BARC GB22

#### **FURTHER INFORMATION**

All queries relating to conference booking and submission of abstracts should be directed to Ed Kirby (Email: [e.kirby@yorks.j.ac.uk](mailto:e.kirby@yorks.j.ac.uk) Telephone +44 (0)1904 876517).

## 学会および研究会報告

### JSSGS 主催 講演会

「体育における政策，パフォーマンスティビティ，説明責任：体育の政治とカリキュラム」  
ジョン・エバンス氏(スポーツ社会学)の講演会に参加して

東京学芸大学連合大学院 原 祐一

秋が深まる京都にて開かれた本公演会は、イギリスのラフバラ大学からエバンス氏をお迎えし、イギリスの社会的な関心が体育や子どもにどのような影響を与えているのかについて開かれた。私自身、エバンス氏とはラフバラ大学を訪問した際にお会いし、非常にお世話になったこともあり、今回の講演を非常に楽しみにしていた。

はじめに、演題になっているパフォーマンスティビティという言葉がイメージできなかったのだが、「パフォーマンスティビティとは現代社会が成果を重視しこれに伴って競争的で相互監視的な傾向を強めているという現象を象徴的に表していることばとして用いられている(補足資料から)」という事を理解するところから講演を聞かせていただいた。

日本の体育に目を向けてみると学習指導要領の改訂作業が行われるなかで、パフォーマンスティビティや説明責任が強調されるようになってきた。そういった意味で先行しているイギリスに学ぶ意味は大きいと考えられる。エバンス氏はイギリスでナショナル・カリキュラムと関連してパフォーマンスティブな文化が教師や子どもに評価というプレッシャーを与えていることを指摘している。その一つの例として肥満の問題から、学校における健康教育について取り上げられていた。子どもは、学校だけでなく、社会や家において常に身体に対する監視を受けており、このことが相互に関連して摂食障害を引き起こしている事を問題にしている。その際に学校における健康教育でBMIという指標を使う際に、数字だけで評価するのではなく、健康とはどういったことかというように総合的な教育する必要があることを指摘している。体育においてパフォーマンスティビティや説明責任だけで政策を考えることは、かえって問題を大きくする可能性があり十分に配慮する必要があることをエバンス氏は強調されていた。このようなことから、日本に目を向けてみると今後の学習指導要領の改訂作業の中で、体力や健康と言ったことが実際の学校や教師、子どもにどのような影響を及ぼすのかまで、十分に検討をする必要があるのではないだろうか。まだまだ勉強不足の面があり、エバンス氏の講演を十分に理解したとまでは言い切れないが、公演後の質疑応答も時間をこえるほど充実した議論がなされ非常に刺激的な講演会となった。





## 【編集後記】

会報44号をお送りいたします。本号には来年、3月に金沢大学で開催される第16回学会大会のご案内が掲載されています。また、2つの国際学会のご案内も掲載されております。どうぞふるってご参加ください。

今秋、渡英する機会をえてイギリスの研究者と交流しましたが、北京オリンピックが近づいていることもあって、アジアの社会とスポーツに対する関心が高まっているようです。国際スポーツ社会学会の日本開催の検討や、本学会における韓国スポーツ社会学会との国際交流企画などの動きもあります。楽しいな動向です。(K.M)

◆学会への連絡、入退会、住所・所属・メール等の変更、会費納入、その他の各種手続き

〒151-8523 東京都渋谷区代々木3-22-1 文化女子大学気付  
日本スポーツ社会学会事務局  
萩原美代子【事務局長】  
TEL: 03-3375-7577  
FAX: 03-3375-7577  
E-mail: [secretary@jsss.jp](mailto:secretary@jsss.jp)

◆ 会報への投稿

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1  
東京学芸大学教育学部  
松田恵示【会報担当】  
E-mail: [doc@jsss.jp](mailto:doc@jsss.jp)

学会公式ホームページ  
日本スポーツ社会学会公式ホームページ  
<http://jsss.jp/>